

備前市事務事業評価表

事務事業名	地域公民館運営事業（日生）		コード	担当課係	日生地域公民館
			03-02-04-09	担当者	森谷文彦
事業実施期間			電話	72-1006	
総合計画 事業（政策）体系	大項目	地域文化と人が輝くまちづくり			
	中項目	生きがいのあるまちづくり			
	小項目	公民館			
	施策	指導者の育成文化活動の推進			

事業について	
目的	利用者の実際生活に即する教育・学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与する。また、市民の学習ニーズ、時代に即した学習の機会や場所を提供する。
対象（誰のために）	市内在住のすべての住民、市内事業所に勤務している人、及び日生地域公民館を利用する人
内容	貸館業務、公民館運営審議会の開催、各種講座・講演会の開設、文化グループへの共催による文化祭の開催。

事業の結果	17年度		
実施項目	回数など（単位）	回数など（単位）	回数など（単位）
貸館件数	932 件		
貸館利用者数	23,656 人		
主催講座数	14 講座		
主催講座参加者数	1,140 人		

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	4,875	国庫補助金等		直接事業費		国庫補助金等	
	人件費	17,275	受益者負担	705	人件費		受益者負担	
	合計	22,150	一般財源等	21,445	合計	0	一般財源等	0

必要人員	2.10	人		人
結果指標名	貸館利用者数			
結果指標量	23,656			
単位	人			
対前年比	—			
事業費	17,083,000	円		円
単位当たりコスト①	722	円		円

結果指標名	主催講座参加者数			
結果指標量	1,140			
単位	人			
対前年比	—			
事業費	5,067,000	円		円
単位当たりコスト②	4,445	円		円

事業の成果	17年度		
成果指標名	主催講座受講者数	式又は説明	公民館主催講座受講者数
成果指標量	1,140		
対前年比	—	0.00%	
到達目標値	1,300	到達目標年度	平成19年度

事務事業の評価		(平成17年度事業)
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等：社会教育法第20条
	対象の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input checked="" type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である
効率性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である
	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である
	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている
有効性の評価	職場の効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい
	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している
	成果向上の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある
市民参画度	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 講座によっては市民の学習ニーズの把握ができていますが、市民が「何を」、「いつ」学びたいか等の情報を収集したうえでの講座内容の検討が必要がある。また広報の方法を再検討し、より多くの市民に学習機会を提供していきたい。なお、これまでの受益者負担額が妥当であるかを再検討する必要がある。	評価区分 <A~E> C
------	---	---------------------------

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合		
翌年度結果指標量①	25,000	結果指標量②	1,300
目標値	結果指標量	1,300	

改善事項	評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
妥当性	妥当性	地域の実情、市民のニーズに応じた、学習活動の支援・機会の提供	平成19年度	市民の学習意欲向上、受講者数の増加
		効果性	地域人材の活用、受益者負担額の再検討	平成19年度
有効性	有効性	講座時にアンケート等を実施し市民の学習ニーズを把握する。広報の方法の再検討。	平成19年度	市民の学習意欲向上、受講者数の増加